

池中だより

- 【教育目標】
すすんで学び実践する人
- 感謝する心を持ち責任を果たす人
- 心身ともに健康な人

7月号

平成25年7月1日
豊島区立池袋中学校

夏を制する

校長 堀 利光

富士山登山の教訓

今日は富士山の山開きの日です。先ごろユネスコの世界遺産委員会で日本が推薦した「富士山」を世界文化遺産に登録することが決定しました。そんな今話題の富士山ですが、実際に頂上まで登ったことがある人はどのくらいいるでしょうか。私も何十年前に友人と二人で五合目から登ったことがあります。山男のガイドさんが「絶対に自分を追い越してはいけない。また頭痛や吐き気がする高山病になる人もいる」と言われました。若かったのでそんなもの自分には関係ないと思っていました。山男のガイドさんの歩調があまりにゆっくりで、最初のうちはついつい追い越していましたが、六合目を過ぎ七合目と高度が上がってくると、その歩調がちょうど良くなってきました。なんとか八合目の山小屋に到着し、ご来光を頂上で見るために仮眠をとりました。でも、もう頭痛はするは吐き気はするはで、まぎれもない高山病になっていました。夜中に起こされて、真っ暗闇の中を黙々と頂上を目指しました。幸い歩いているうちに頭痛と吐き気は治まり、無事に頂上に到着、ご来光も見ることができました。

勉強の進め方

勉強の進め方をこの山登りに例えることがあります。人によっては一気に真っ直ぐ直登して頂上をめざす人もいます。迂回しながら高度に身体を順応させながら頂上をめざす人、五合目で周囲を散策してから頂上をめざす人、八合目の山小屋で休憩をして頂上をめざす人など様々です。自分はどのパターンにあてはまるでしょうか。

1学期を振り返る

さて、1学期も約三週間で終業式を迎えます。この間の大きな行事といえば1年の潮干狩り遠足、運動会、3年修学旅行、定期考査、2年尾瀬移動教室などが、すぐに思い浮かぶはずです。それぞれの行事に対して自分は何を目標とし、それを達成するためにどう努力し、実際に行動できたか。もう一度振り返ることが必要です。そして、どうしても出来なかつたことは見過ごさずに次の機会には出来るようにしておくことです。そうしない限り同じ失敗をまた繰り返してしまいます。

学習計画を立てる

この夏季休業期間の学習計画を今のうちから立てておくことも大切です。そして、計画を立てたならば必ず実行する。

ちなみに、夏季休業期間をⅢ期に分けて計画を立てると以下になります。

I期（7月20日～7月31日）宿題を仕上げると同時に一学期の復習にあてる。

II期（8月1日～8月13日）自分が課題としていることの克服にあてる。

III期（8月14日～8月26日）二学期に向けての予習にあてる。

これはあくまでも例ですので、参考にして自分なりの計画を立ててください。

特に三年生

三年生は、この他にも進路先の訪問・見学、夏季講習の申し込み、模擬テストへの参加、担任や家族との意思疎通等の進路を選択するうえで、やらなければいけないことがたくさんあります。

家庭や地域の一員として

夏季休業期間中は、学習の他にも部活動や習い事等で次のステップをめざす。また、家庭の一員として積極的に家の仕事を引き受ける。地域の一員として地域の行事や祭礼等に参加するなども大切なことです。

夏を制する者は

1年生は小学校から数えて7回目、3年生は9回目の夏休みを迎えます。二学期の始業式前日まで溜めに溜めた宿題の山に悪戦苦闘するのではなく、自分で決めたテーマのもと『夏を制する者は将来を制す』というくらいの強い気持ちで計画的で余裕のある充実した夏休みを過ごしてください。

